

大森東地区管内人口		
人口	男	10,207人
	女	9,184人
	計	19,391人
世帯数	10,646世帯	

(令和5年12月1日現在)

おおいがし 地域情報 いっつのわ

手をつなぐ5自治会

- 大森東自治会 (平林 敏夫 会長)
- 大森東四丁目自治会 (伊藤 音嗣 会長)
- 川端自治会 (平林 盛久 会長)
- 大森南自治会 (平林 茂 会長)
- 森ヶ崎自治会 (野口 多加志 会長)

発行：地域力推進大森東地区委員会 編集：地域情報紙「いっつのわ」編集委員会

【編集委員長】須山 芳明 (大森東四丁目自治会) 【副編集委員長】野村 勝恵 (大森東自治会) / 福本 享子 (川端自治会)
 【編集委員】田中 文雄 (大森東自治会) / 伊藤 音嗣 (大森東四丁目自治会) / 平林 典明 (川端自治会) / 野口 弘子 (大森南自治会) / 魚住 みさ子 (大森南自治会) / 佐藤 恵美子 (森ヶ崎自治会) / 安藤 澄枝 (森ヶ崎自治会) 【事務局】和田 颯太 (大森東特別出張所)


合同防災訓練が実施されました！

四年ぶりの五町会合同の防災訓練が十月一日、森ヶ崎緑華園内芝生広場で行われました。

訓練内容は、

- ① 訓練用消火器を使って消火する
- ② 心肺蘇生法 (胸骨圧迫とAEDの使用)
- ③ 人を救助する訓練
- ④ 煙が充満した部屋での移動体験
- ⑤ 身近な物でつくる サバイバル防災用品

ダンボール箱、ビニール袋、新聞紙を使った簡易トイレ、レジ袋を使ったおむつカバー等



初期消火訓練の様子

大森東地区自治会連合会

会長 平林 敏夫



あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、よき新春を迎えられたことと、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年の五月から、新型コロナウイルス感染症が五類感染症に引き下げられ、「いっつのわふれあい祭り」や「大森東地区自治会連合会合同防災訓練」等の連合会行事が、「四年ぶり」に開催されることとなりました。

四年の間に人員や世間の考え方など変化したものも数多く、それぞれの行事再興のため、運営方法など連合会一同、熟考を重ね実施してまいりました。

十月一日に開催されました「大森東地区自治会連合会合同防災訓練」では、四年ぶりに通常開催と

その後、各町会消火隊の日頃の訓練の成果が披露され、これには大森消防署森ヶ崎出張所長より、おほめの言葉をいただきました。

関東大地震が起きてから百年。この三十年間に首都直下地震の起きる確率七十%といわれています。(二〇一四年時点)

今回はコロナの状況を考え、参加人数が制限されましたが、次回には、より多くの方に参加していただける訓練が出来るようにと願っています。

(福本 享子 副編集委員長)




救助訓練の様子

十月二十二日に開催されました「第十回いっつのわふれあい祭り」では、過去最多の出店数となり、当日は老若男女、和気あいあいと大盛況に終わることができました。実行委員・出店関係者の皆さまに、つきましては、たくさんのご協力、ご理解いただきまして、誠にありがとうございました。

この他にも、区の事業や各自治会の盆踊りなど、数多くの事業・行事が再開しております。地域の皆様方におかれましては、今年度も引き続きご協力をお願いいたします。

大森東地区自治会連合会並びに地域の皆様の新たな一年が、より一層飛躍した年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



大森びと リポート Vol.2

鈴木笑美さんから 浅野美保さんへハートタッチ！ (図書ボランティアつながり)

『息子と旅する』

浅野 美保さん

私は夫の転勤で、十六年前に大森東地区に引っ越して来ました。今、私がハマっているのは、息子と行く「電車の旅」です。


きっかけは息子の「東海道本線はどこまで続いているの？」という一言でした。調べてみると終点は神戸駅。ならば東海道本線を乗り継いで、神戸まで行ってみよう！と当時小学二年生だった息子と、二人で二泊三日の旅に出ました。途中、いろんな駅に立ち寄り、その土地の名物を食べ、彼が乗りたいたいという電車に乗り、ゆっくり二日かけて神戸まで。それは母子共にとても充実した時間でした。

それから長期休暇は「電車の旅」が我が家の定番となり、息子と「次の電車の旅はどこにする？」と毎度計画を立て、七年かけて全都道府県を巡りました。元々私にとって、鉄道は単なる移動手段しかありませんでしたが、息子のおかげで鉄道で旅する事の楽しさを知ることができました。そして、息子と二人、旅先で過ごした時間と思えば私の人生


大森東 子ども美術館

中富小学校 作品


「大森東 子ども美術館」第2弾は、中富小学校6年生の作品を掲載しています。児童のフレッシュな作品を皆様ご鑑賞ください。



「Load of happiness」 6年1組 千葉 もなみさん



「茨の道」 6年1組 小林 幹大さん



「もこもこネームロード」 6年1組 伊達 董さん

地域の行事

- ★ 貴船神社
 - ・ 節分祭 二月三日(土)
 - ・ 稲荷祭 二月二十五日(日)
- ★ 浦守稲荷神社
 - ・ 節分祭 二月三日(土)
 - ・ 初午 二月十二日(月)
 - ・ 青年会初午祭 未定

編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年は管内自治会では例年通りの盆踊りや催し物が出来ました。また、第10回いっつのわふれあい祭りも快晴のもとたくさんの方々に来ていただきました。

この地域は大田区でも古くから人々が多数居住してありました地域ですので、その歴史や文化を取り出して地域の情報として提供したいと存じます。

また、皆様からのご投稿、ご意見をお寄せいただければ幸いです。皆様には今年が良き年となりますよう祈念申し上げます。

編集委員一同

いつつわ ふれあい祭り

10月22日「第10回いつつわふれあい祭り」が4年ぶりに開催されました。「結び合い・笑顔あふれる大森東」をテーマに、模擬店・展示コーナー・子ども向けコーナー・ステージでは、地域の小中児童による吹奏楽や太鼓の演奏が行われ、最後は、大森甚句にたくさんの参加をしていただきました。延べ来訪者は約**15,000**名で大盛況に終わりました。ご協力いただいた皆様お疲れ様でした。



模擬店コーナーは大盛況



ドローン体験

ドローン操縦に皆さん大興奮



はねぴょん

はねぴょんも来たよ!!



吹奏楽演奏

きれいな音色を地域の皆さんに...



パン・のりせんべい食い競争

狙いを定めてダッシュ!



ダンス

カッコいいダンスでした!



大森甚句

最後はみんなで「大森甚句」

幸陽祭

11月11日「第23回いつつわ幸陽祭」が4年振りに開催されました。のぞみ園の太鼓が披露され、アクセサリーの販売や手作り体験・大根や人参など法人自主生産品の販売・フランクフルト販売など様々なイベントに多くの方々が集まりました。子供たちもボーリングや宝つりコーナーで楽しみ、大きな箱入りの景品を嬉しそうに抱えて帰っていました。皆様の生活もすこしずつ回復しているように感じます。引き続き地域の発展に貢献できることを喜ばしく思います。



オープニング太鼓「願い」



楽しいお買い物で大盛況!



綺麗なアクセサリーがいっぱい!



何がつれるかな?



おいしそう~

社会福祉法人大田幸陽会
のぞみ園 施設長 長尾孝則
大田区立つばさホーム前の浦 施設長 谷口学

『第23回いつつわ幸陽祭』は4年ぶりの開催でしたが、大勢のお客様にお越しいただき、楽しく、盛況のうちに幕を閉じることができました。また新たな一歩を踏み出すことができ嬉しく思います。多大なご協力を頂いた、地域の皆様、関係機関の皆様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

受賞おめでとうございませう

令和5年度
大田区青少年対策地区委員会
永年功労者表彰

掛川 知子(大森東自治会)
(敬称略)

いつつわ通信

楽しい落語講座

大森東自治会 田中文雄

私はJ.R.東日本の大人の休日倶楽部、趣味の会で「楽しい落語講座」を受講して、六年が経ち現在も続けており、六年の間に八十数席の断を聴きました。講師は三遊亭吉窓師匠で、大師匠は昭和の名人の一人、六代目圓生師、師匠は六代目圓窓師です。

講座は、前半がその日の演目についての解説と落語界の話題などの紹介があり、後半は吉窓師匠による一席があります。落語の世界では、身分制度がはっきりしていて「前座↓二ツ目↓真打」となり、「真打」から師匠と呼ばれ、弟子を取ることで出来るようになります。

また、寄席の楽屋には「根多帳」が用意されており、当日の出演者と演目が出演順に書かれており、後の出演者は根多帳を見て、同じ断や、似た断は演じないようには断を覚えなければなりません。身体に障害のあるお客さんが来場の場合は「木戸」(受付)よ

り楽屋へ知らせがあり、出演者は、その障害に係る断は演じないようにしています。ただ、泥棒の断や、ケチの断はOKで、多く演じられています。泥棒の断にしても、客席より「おれは泥棒だ!」と注意されることもないし、ケチな人は入場料を払ってまで寄席には来ないとのこと。



さて、写真の文字の読みは? 答は「遊」です。この文字は、寄席文字で皆さんも見たことがあると思います。寄席文字の特徴は、隙間が少なく墨黒々と、右肩あがり、文字は客席に見立て、墨黒々としたところをお客様、右あがりは尻上がりに通じ、日を追うごとにお客様が詰めて書いての縁起と願いを込めて書くことを極意としています。私は今年も「遊び心」で、明るく、楽しく過ごそうと思えます。

プラスチック回収事業

大森東四丁目自治会 伊藤 音嗣

今年十月から大森東地区全体でプラスチックゴミの分別回収が始まりました。わが自治会と大森東自治会は昨年十一月から先行して行われ金曜日の資源ごみの日に出していましたが、大量の場所を取り不便でした。今年の地域拡大に伴い火曜日になり金曜日は落ち着きました。先行実施が生かされたと思います。皆様には、結構気を使っています。皆様には、結構気を使っています。徐々に慣れていけば良いと私は思っています。



分別

出来る事・出来ない事がまだまだあるでしょう。でも、皆が分かるように、全員が取り組めるようにしていつて欲しいと思います。私は、青少年に関わる者として、四月のガーデンパーティーで取り組めれば幸いです。特に、先程の②不燃ゴミ!! 皆さんも今一番悩んでいる事だと思えます。汚れが付いているプラスチック。③の中のペットボトルは「蓋とラベルは取ってプラスチック」と呼びかけたと思います。SDGs十七項目のうち十二番に少しも役立ちたいものです。

